

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名	観光プロモーションの推進				所管	文化産業観光部 観光課		
	行政計画	事業NO.	35	計画事業名	観光プロモーションの推進			
事務事業の概要	長期総合計画体系	[基本目標] I-2. まちの魅力の創出 [小 柱] (1) 観光資源の再発見と活用の推進 [施 策] ②観光案内と情報発信の充実				事業の開始・終了年度		
	根拠法令等	その他	[法令等名]	なし				
	事業対象	国内外の観光客及び旅行代理店等						
	事業目的	豊富な観光資源を有する台東区の魅力を様々な広報媒体を活用して積極的に発信するとともに、シティセールスを通して他の自治体住民や旅行エージェントをはじめとした企業等に効果的なアピールをすることにより、国内外観光客の一層の誘致を図る。						
	事業内容	①国内主要都市やアジアを中心とした国内外シティセールス ②東アジア向けフリーペーパー等、海外の雑誌媒体を活用した広告掲載 ③国内大手インターネットサイトを活用した情報発信及び誘客への仕掛け						
	委託の有無	一部委託	委託内容		・雑誌媒体等への広告掲載、広告制作委託			
	補助金の有無	都						
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度	
	活動指標	各種媒体を活用した広告掲載	(回)	10	6	5	5	
		シティセールス回数	(回)	10	13	8	9	
	成果指標	年間観光客数	(人)	-	45,040,000	-	50,610,000	
	決算額 (単位：千円)				17,526	17,973	19,340	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			11,874	10,030	11,138	
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			16,728	16,954	18,153	
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			799	1,019	1,188	
		総経費			29,401	28,003	30,479	
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			0	3,364	2,926			
一般財源 (区負担額)			29,401	24,639	27,553			
前回評価から改善した事項	東南アジア圏2か国の海外旅行博に出展し、ターゲット国での直接的なプロモーション活動を行った。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	4	東南アジアを中心としたインバウンドの増加など観光情報重要の高まりに対応し、本区の魅力を発信している。2020年開催の東京オリンピックに向け、更なる観光客誘致を図るため、引き続き積極的なシティセールスや宣伝活動を展開する必要がある。					
	効率性	3	国や東京都が自治体向けに海外向けプロモーション事業をサポートする事業を新たに行っている。本事業の実施にあたっては、費用対効果を踏まえ、このような枠組みを研究・活用することで財政的な負担を低減しつつ、高い事業効果が得られるよう積極的に取り組んでいく。					
	手段の適切性	3	広告媒体は、対象国により訴求力のあるメディアが異なるため、イベントで行うアンケートや海外旅行博での直接のヒアリング等で情報収集を行っており、ターゲットとしている国ごとに、より適切な手段でプロモーションを行っている。					
目的達成度	4	平成28年度の観光統計・マーケティング調査では、台東区への入込観光客数は、約5,061万人と前回調査から557万人増加している。また、外国人観光客については830万人と前回調査から57.8%の増となった。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)				評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
平成28年度の観光統計・マーケティング調査では、観光客数は国内外ともに増加しており、本区の最新の観光資源を観光客のニーズに的確に対応し情報発信した効果と捉えている。今後も、新規の観光客とリピーター獲得のため、プロモーション活動を推進していく。					維持			